

## 家庭科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○○</span> </div>	発行者番号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発行者名</span>
項目		
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                  ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容について、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                  ○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現する等、課題を解決する力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                  ○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b>                  ○家庭生活に関する内容について、実践的・体験的な活動を通して、実感を伴って理解する学習を展開するために、どのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習に関心をもたせ、学習効果を高めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等、資料と本文の関係及び資料のレイアウトには、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○中心的な学習活動である実習を安全かつ効果的に進めるために、どのような工夫が見られるか。 ○タイトル・見出し・説明文などの使い方には、どのような工夫が見られるか。 ○用語・記号・図記号・単位・数値等の使い方には、どのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名 項目</p>	<h1>新しい家庭科</h1>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「家庭の窓」や「リード文」を掲載し、主な視点に目を向け、学ぶ意義を考慮することで、概念的な理解を図り、知識・技能の定着につながる工夫がされている。</li> <li>○巻末資料「いつも確かめよう」では、日常生活に必要な基礎的な知識・技能を取り上げ、確実な習得に向けて、児童が自ら確かめることができるよう工夫がされている。</li> <li>○小題材の「めあて」に呼応した「ふり返ろう」を設け、こまめに学習を振り返り、学習内容が定着するように工夫がされている。</li> <li>○各実習に「できたかな」の欄を設け、実習のポイントを自己評価として活用することができるよう配慮がされている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の中に、学びを深めるために必要な「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動が設けられ、自分の考えなどを記入できるようになっている。</li> <li>○学習過程において、三つのステップを基本としながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現することができるよう工夫がされている。</li> <li>○見方・考え方を働かせながら学習を進められるよう、児童に投げかける言葉が吹き出しの中に設定されている。</li> </ul> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の流れとしての「ステップ」1～3と、学びを深めるために必要な活動が掲載され、見直しをもって自ら学べるように工夫がされている。</li> <li>○「ステップ3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及び「深めよう」では、具体例を示し、学んだことを生活に生かすことができるように工夫がされている。</li> <li>○「生活を変えるチャンス！」では、学んだことを生かし、家庭や地域での実践例から、問題を見いだして課題を設定することができるような工夫がされている。</li> </ul> <p>＜実践的・体験的な活動の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活を変えるチャンス」を設け、学習を振り返り、そこで見つけた新たな課題を解決・実践する事例を載せ、実践的・体験的な活動の充実を図っている。</li> <li>○「ステップ3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」を設け、学習内容を生活に結び付ける方法例を具体的に示し、実践・体験できるように配慮がされている。</li> </ul>	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードで画像を見ながら学習できるページを設けている。基礎技能などの動画を見ることができるなど、課題を解決するための手掛かりとなる資料等が示されている。</li> <li>○今日的な課題への取組の資料がマークで分類され、見やすく示されているとともに、学習を深めるのに参考となる内容が「資料」として示されている。</li> </ul>	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全についての注意・喚起を促す「安全マーク」等、様々な学びとの関連を示すマークが使われている。</li> <li>○全ての大題材のタイトルの横に家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設置し、どの視点を重視するかが分かるように工夫がされている。</li> <li>○言葉の注釈には「言葉」と示して解説してあり、他の題材や教科・学年の学習内容との関連する点には「関連」や「リンク」を付して、学習に見直しをもたせるように工夫がされている。</li> <li>○学習内容別のマーク・テーマカラーを設定し、系統性が可視化できるつめ見出しがつけられている。</li> </ul>	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確な目的をもって学習に取り組み、生活をよりよく変えていく力を身に付けるために、問題解決的な学習が「見つけよう」などの三つのステップで展開されている。</li> <li>○作ってみたいという意欲が高まるような実践的・体験的な活動を通して、基礎・基本を確実に習得し、生活の自立へつながるような工夫がされている。</li> </ul>	

書名  項目	<h1 style="margin: 0;">わたしたちの家庭科</h1>	9 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">開隆堂</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○「なぜ毎日食事をするのだろうか」など、題材の初めに児童に問いかけることを通し、概念的な理解を図り、知識・技能の定着につながる工夫がされている。            ○日常生活に必要な基礎的な知識・技能を身に付けるために、スモールステップで易しいものから順に実習を積み重ね、発展していくよう工夫されている。            ○実習の手順は写真とイラストを用いて段階ごとに示し、実際の活動をイメージしやすいよう配慮されている。            ○各実習に「できたかな」の欄を設け、技能についての学習成果を確かめることができるよう配慮されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○フォトランゲージを使って題材の導入を図ることで、児童たちが生活の様々な場面を想起したり着目したりしながら、学習が展開されていく工夫がされている。            ○「話し合おう」「調べよう」等の場面が題材の中に設定され、友達と意見交換をしながら様々な解決方法を考え比べることで、深い学びにつながるよう工夫されている。            ○学習過程において、三つのステップを基本とし、見方・考え方を働かせながら、生活を「自分のこと」として捉えられるよう工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の三つのステップで題材が掲載され、見通しをもって自ら学べるように工夫がされている。            ○題材の導入では、大きな写真を掲載し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、問題を見いだすことができるような工夫がされている。            ○「レットトライ生活の課題と実践」や「チャレンジコーナー」では、学んだことを生かして課題を設定し、家庭や地域での実践を促す工夫がされている。         </p> <p> <b>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</b>            ○「レットトライ 生活の課題と実践」を設け、学習を振り返り、そこで見付けた新たな課題を解決・実践する事例を載せ、実践的・体験的な活動の充実を図っている。            ○「チャレンジコーナー」を設け、家庭科で学んだことを生かして、実践できる事例を示すことで、実践・体験できるように配慮されている。         </p>	
資 料	<p>           ○「QRコード」の画像を見ながら学習できるページが設けられている。調理の様子や実験動画、学習を振り返るクイズなど、課題を解決するための手掛かりとなる効果的な資料等が示されている。            ○今日的な課題への取組の資料や学習を深めるのに参考となる内容が写真やイラスト、「アイコンマーク」を用いたコーナーで見やすく示されている。         </p>	
表記・ 表現	<p>           ○安全についての注意・喚起を促す「安全マーク」等、取り組む視点等を明確に示すマークが使われている。            ○安全を具体的に示す特設ページを設定し、実習時に作業を安全に進める具体的行動について確認することができるように工夫されている。            ○言葉の注釈には「一口メモ」と示して解説してあり、他の題材や教科・学年の学習内容との関連する点には「関連マーク」や参照ページを付して、学習に見通しをもたせるように工夫されている。            ○「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費・環境」の内容ごとに色分けしたつめ見出しが付けられている。         </p>	
総 括	<p>           ○生活を自分のこととして捉え、身に付けた知識・技能を自らの生活に生かしていくために、「見つける・気づく」などの三つのステップで題材が構成されている。            ○基礎的・基本的な学習をスモールステップで積み重ねていくことで、着実に知識・技能を身に付け、生活に生きる確かな力を育めるよう工夫されている。         </p>	

## 家庭科 調査資料 2

### ○分量について

内容	東書	開隆堂
1 総ページ数 ※目録に記載されたページ数	146	138
2 挿絵、写真、資料等の総ページ数 ※ガイダンス、学年の振り返りは含めない。	37	31
3 題材数	15	20

○項目別ページ数について ※重複する内容について、それぞれの項目でカウントしている。

#### < A 家族・家庭生活 >

内容	東書	開隆堂
(1) 自分の成長と家族・家庭生活	7	2
(2) 家庭生活と仕事	12	8
(3) 家族や地域の人々とのかかわり	9	7
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践	5	11

#### < B 衣食住の生活 >

内容	東書	開隆堂
(1) 食事の役割	4	4
(2) 調理の基礎	30	18
(3) 栄養を考えた食事	21	12
(4) 衣服の着用と手入れ	16	9
(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作	28	26
(6) 快適な住まい方	23	15

#### < C 消費生活・環境 >

内容	東書	開隆堂
(1) 物や金銭の使い方と買物	12	6
(2) 環境に配慮した生活	15	6

#### ○その他

内容	東書	開隆堂
1 製作品・調理実習の例示数	88	92
2 観察・実験、見学、調査、研究の例示数	80	84
3 安全・衛生に配慮する項目を取り上げている箇所数	28	22